

意欲や能力のある『誰もが・安心して』働ける会社」を目指して

サンデン株式会社

本社 ■〒 372-8502 群馬県伊勢崎市寿町 20
 ■ TEL.0270-24-1211
 ■ <http://www.sanden.co.jp/>

● 人事部 人事サポート部長 常木 美幸さん



Q 入社してから意識は変わりましたか。

A 入社してから会社の仕事が変わってききました。グローバルな仕事であったり、年次が上がるに連れて仕事の範囲が広がっていきました。仕事は難しくなる一方で、自分は好奇心が旺盛なので「あの仕事を知りたい」「この仕事を知りたい」と上司にいつも言っていました。

Q 女性が会社で活躍できるような取り組みは行っていますか？

A 二〇〇四年に自分がリーダーとなって女性活躍推進プロジェクトを発足しました。このプロジェクトでは「意欲や能力のある『誰もが・安心して』働ける会社」を目指して活動を行いました。このプロジェクト発足後には育児取得率は100%になり、女性管理職も起用されるようになりました。

Q 仕事を継続していくにあたって、周囲の人の協力はありましたか。

A 夫と母親が家事・育児に対して協力的で、仕事に関しても理解がありました。また近所の方に子どもを預かってもらうことができたため、仕

事に打ち込みやすかったです。会社も困ったときに相談しやすい環境で、上司にも個人の事情を理解して仕事を評価してもらうことができました。社内で産休・育休・時短制度を取ることが当たり前というような雰囲気浸透していますね。しかし周囲の支援に甘えることなく、仕事は先取りして行う、限られた時間に120%の力を発揮するなど、支援や制度を当たり前だと思わないことが大切です。

Q 貴社には女性が働きやすい環境をつくるための制度がありますか。

A 時間短縮勤務制度があります。通常勤務より2時間少ない9時から4時までの勤務、勤務時間を調節できる短時間フレックスや、午前か午後だけの勤務を選ぶことができます。当初は子どもが3歳になるまでの制度でしたが、小学校1年のときが大変という意見を取り入れ、小学校1年生の年度末までに切り替えました。制度は社内のポータルで周知可能で、出産した人の100%が短時間勤務を利用しています。

Q これから社会に出る女子大生に何かメッセージがあればぜひお願いします。

A あまり焦らないことも大切かもしれませんが、高い夢を持って邁進していくのが本当は良いのかもしれないが、目の前のちょっとした目標を少しずつクリアしていくことが大切なのだと思います。こういう自分になりたいということを考えながら、自分の成長を感じていけると良いと思います。



学生の声

もともと女性が定年まで働くことが当たり前という企業文化があったということにまずとても驚きました。この企業文化に、女性も活躍してもらおうというトップの意識や、今回インタビューさせていただいた常木美幸さんや社員の皆さんの努力が加わって、今の誰でも働きやすい会社作り上げられているのだと感じました。今後も女性管理職を増やすなど積極的によりよい会社を目指す意欲込みが強く感じられました。